

令和5年6月22日(木)

私たちが生まれてきた意味は「愛を学ぶ」ため

私たちは、勝手にこの世に生まれてきたのではありません。もちろん、産んだ母親に「新たな生命をこの世に誕生させたい」という強い意志があったからです。それと共に、皆さん一人一人の「生まれてほしいという魂の強い決意」があったからでもあります。生まれることを望んで生まれてきた私たちの魂は、この世で修行しようという強い意思を持っています。

あの世・天国と比較すると、この世は地獄なのかも知れません。皆さんはわざわざ志願してこの世の地獄へ生まれてきたのですから、その意欲や熱意は相当高かったはずです。豊かな国や家庭を選んで生まれようが、貧しい国や家庭に生れようが、皆さんはそれぞれの魂に必要な経験ができる国や家庭に生まれてきています。

あの世・天国では、気の合う人とだけ出会うと言われていています。しかし、この世ではいろいろな人たちとも出会えます。そして、さまざまな人に揉まれていいことも悪いことも学ぶことができます。私たちが生まれてきた目的は、あの世・天国ではできない経験をするためです。ですから、この命を粗末にせず、与えられた命を生き抜く使命があります。

さらに言うならば、私たちが生まれてきた目的は、魂の成長に欠かせない「愛を学ぶため」と言ってもいいでしょう。この愛を学ぶためには喜怒哀楽の（喜び、怒り、悲しみ、楽しむ）すべての経験が必要です。

私たちがこの世の中で生活することを通して、酸いも甘いも経験します。「酸いも甘いも」とは、「人生の良し悪し」を味覚で例えたことが語源です。「酸い（酸っぱい）」の“酸（さん）”に含まれる「つらい」「いたましい」という意味が悪い体験や場면을、また「甘い」に含まれる「楽しく快いさま」という意味が良い体験や場면을それぞれ表しています。あの世・天国ではこのようないろいろな経験はできないので、わざわざこの世を選択して生まれてきました。たくさん喜怒哀楽を経験しましょう。そして、人に大切にされる愛されること、人を大切にす愛することを学びましょう。これが、私たちがこの世に生まれてきた意味なのですから。